

## 会議録

会議の名称	令和4年度第1回加東市児童館運営委員会
開催日時	令和4年6月28日(火) 13時30分から14時30分まで
開催場所	社児童館「やしろこどものいえ」多目的室
議長の氏名	(委員長 森田 啓之)
出席委員の氏名	<p>【出席委員】5人</p> <p>・森田 啓之      ・西田千枝子      ・田中あずさ</p> <p>・土肥 瑞穂      ・村上 涼子</p>
説明のため出席した者の職氏名	なし
出席した事務局職員の氏名及びその職名	<p>加東市教育委員会</p> <p>こども未来部部长      廣西 英二  こども教育課課長      井澤 彰子  同副課長      稲岡 めぐみ  同係長      丸山 久美子  同主事      西村 光  加東市児童館厚生員      依藤 洋子  同厚生員      藤川 壽子  同厚生員      藤尾 純子</p>
○議事及び会議結果	<p>【議事】</p> <p>(1) 協議事項「令和3年度加東市児童館の運営と事業実績について」</p> <p>市長からの諮問を受け、事務局が資料①から③に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>(2) 報告事項「令和4年度児童館の事業計画案について」</p> <p>事務局が、資料④から⑥に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>(3) その他</p> <p>児童館の現状と課題について説明し、各委員からご意見をいただきました。</p>

## ○会議の経過

### 【開会】

- ・開会のあいさつ（廣西部長）
- ・自己紹介（委員及び事務局）
- ・資料確認（事務局）
- ・委員長、副委員長の選出について

### 【議事】

#### （１）報告事項「令和３年度加東市児童館の運営と事業実績について」

- ・事務局が資料①から③までを説明後、委員による審議。

### 【事務局】

資料①-1、①-2の来館者数の推移と比較についてですが、令和３年度も令和２年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、来館者数は減少しています。しかし、新型コロナウイルス感染症による臨時休館、行事の中止や延期などがあったものの、令和２年度に比べ全体的に微増しています。

資料②について、いくつかの事業は新型コロナウイルス感染症により延期となりました。また、近年、お子様の就園時期が段々早まり、未就園児が少なくなってきたことから、子育てグループ活動の登録親子組数をどのようにのばしていくかが課題です。

資料③ですが、かとう子育てねっとの登録者数ですが、毎月平均１３回記事を掲載していますが、利用者が伸び悩んでいます。スマートフォンやパソコンといった媒体で情報を得る保護者が今後も増加していくことが予想されるため、積極的に情報を発信していきます。

### 【委員】

１２月のファミリーコンサートに子どもと参加したとき、すごく楽しかったのを覚えています。去年も久しぶりに参加させてもらい、子どもも親も一緒に遊んだり歌ったりすることができてすごく良かったです。また、小学生になった子どもは児童館に行く機会は減ってしまいましたが、私自身は児童館に行き、そこでの繋がりが今も続いています。これからのお母さんや子どもにとっても、いろいろなひろばや活動を続けて頂ければ良いと思います。

### 【委員】

私の子どもは今３歳と１歳で、頻繁に社児童館を利用しています。前の緊急事態宣言の時も最初は休館しましたが、その次の緊急事態宣言期間は開いたので、その時は利用しました。どこに行こうかと毎日考えているときもここなら開いているという事で利用でき、とてもありがたかったです。託児有のセミナーも、少しだけ子どもと離れられて、私にとってはすごく息抜きになります。大人だけの時間を満喫できて、勉強もできるため、とても嬉しく思っています。ママ友ひろばにも参加させてもらうことで、友達もできました。

### 【事務局】

要望や改善してほしいなと思うことはありますか。

**【委員】**

施設に関してですが、社児童館の遊戯室から図書室までは、一度靴を履いて移動しないといけないため、マットか何かを敷いて履き替えずにいけたら良いと思います。

**【委員】**

事業報告を聞かせていただき、お母さんの悩みを基にした講座や、仲間を増やす目的で講座をされているという話を聞き、子育て中の方の孤立といった社会的な問題もあるため、このようなお母さん同士が繋がれる場があるのはすごく大事だと思いました。

**【委員】**

児童館に来たらお母さんも子どもも友達ができたり、託児があつたりすると保護者同士で話ができるのもすごく良いと思いました。でも、こういった場に来ることができない人をどうしたらいいのかというのが課題で、そういった人に居場所のようなものがあればいいなと思いました。繋がりを広げて、繋がりを続けていくことが大事だと思いました。

**【事務局】**

先ほど、施設改修のご意見をいただきました。社児童館と滝野児童館は、老朽化が進んでいるので、改修を順次進めていきます。何らかの機会に改修に関する利用者のご意見を聴いて改修していくべきかと思いましたので、考えさせていただきます。また、人と人の繋がりという事で、子どもがいるから児童館が使えるという事ではなく、お母さんだけでも集まってサークル活動をしていただければいいなと思いました。そうなれば生涯学習課の仕事になってしまうかもしれませんが、縦割りではなく、新たな行政でそういった繋がりを大事にできたらと思います。

**【議事】**

(2) 報告事項「令和4年度児童館の事業計画案について」

- ・事務局が資料④から⑥までを説明、その後に委員による審議

**【事務局】**

資料④⑤に基づき、児童館の運営方針及び加東市児童館目標について説明し、それぞれの目標の達成のための具体的な事業の内容について説明を行いました。まち全体が子育てに協力できるまちを目標に掲げ、子どもが心身ともに健やかに過ごせるような取り組みを行っています。多世代の交流を図るような事業を行うことで、高齢の方から小さな子どもまでが関われる機会を積極的に設けています。

資料⑥について、児童館年間行事活動予定について説明しました。

**【委員長】**

少し見直した方がいいという事でやめた事業と、続けた方がいいという事で継続した事業があると思うんですが、そのあたりをお聞きしたいです。

**【事務局】**

運営方針のところに目標として挙げている分で、子どもが楽しく遊べて参加できる、その中で友達同士の関わりや、親子の関わり、世代を超えた遊びの場というのは一番大事だと思いますので、ひろばの事業を多く行っています。

自由に遊びに来てもらう機会の中で、初対面でもここに来た時に、個々で遊ぶのではな

く、繋がっていくんです。そうして自然に人と関わっていくというのがすごくいいと思っています。

来館が初めてで慣れておられない方があれば、職員が少し声掛けをしてお母さん同士を繋いでいくというような事があります。どの事業も頑張っていますが、参加者が少なくなっている事業は、見直していこうと考えています。そして、より子どもたちの興味があるようなことを、職員はアンテナを張って探して工夫をしています。

#### 【議事】

##### (3) その他「各館の現状と課題」

- ・事務局が児童館の現状と課題について説明。その後委員による審議。

#### 【事務局】

参考資料について、それぞれの児童館の代表から各館の現状と課題について説明を行いました。三館とも、来館者数の減少、利用者の低年齢化及び小・中学生の利用促進が課題となっています。

#### 【委員】

加東市社会福祉協議会でも相談を受ける中で、子育て中の方が家からなかなか外に出られないとお聞きしたりするんです。今核家族化が進み、祖父母のところにも預けられないし、お父さんは仕事で不在で、お母さんと小さい子でお家の中にいる、それでお母さんは遠くから来ているのでスーパーの場所すら分からなくて困っているという事も聞きます。そういう方とどう繋がったらいいかというのは私達も課題と思っています。加東市社会福祉協議会の職員も児童館の先生方と意見交換などを行い、今後もこうして職員同士の顔が見える関係で連携していきたいです。

#### 【委員】

夫は仕事に行っていて、子どもと24時間家の中だけで疲れる事もあります。また、大人と話したいという気持ちもあって児童館に出かけることがあります。私が一番初めに利用したのは0歳児ひろばで、1人で行くのは本当に勇気が要りました。結局、友達と一緒に参加し、そういうきっかけがないと、やっぱり1人で児童館に行くのはなかなか勇気がいることだと思います。最初のきっかけを何か考えられたらいいなと思います。

#### 【委員】

子どもが小学校から児童館便りをもらってきますが、小学生向けの講座の案内だけなので、それと一緒にベビーの講座の案内も入れていただいていたなら、下のお子さんがある方だとこんな講座があるんだと認知してもらえるんじゃないかと思いました。

#### 【委員】

なかなか難しい問題だなと思って聞いていました。まず児童館の目的とは何か、利用者を増やす事が恐らく目的ではなく、子育てに困っておられる方や、子ども同士を繋ぎたいと思っておられる方など、そういう方の支援がまずスタートではないかと思います。

そうすると、対象は子どもと保護者で、保護者が働いておられたら祖父母になるかと思っています。そういう方を対象にしようと思うと、保健センターでの広報はすごく有効だなと思いました。それから、私なら子どもを連れて一番に図書館に行くと思うので、そこで広報をしたり、小児科でチラシを張らせていただくとか。

後は、小学生にもベビー講座のチラシを入れたり、チラシには講座の案内メールが届くようQRコードが載っているので、今のお母さん方を取り込んでいけるかなと思います。

あと、かとう子育てねっとで登録者に送られるメールのタイトルを、次回の講座の案内のタイトルにするとか、中を開かなくても内容がわかるようにすると、もっと行ってみようと思われると思いました。

また、休日や土曜日は、小・中学生が対象になると思うので、チラシが有効かなと思います。本校では何月何日にこんな講座がありますといった内容の1枚もののチラシを張っているんですが、子どもたちはよく見えて、頭の片隅には残っていると思います。参加対象によって方法が違うことや、利用者を増やす事だけが決して目的ではない、けれど施設としては利用者は増やしていかないといけない、ということで難しい問題だなと思いました。

#### 【委員長】

たくさんのご意見ありがとうございました。私自身が細かいところまで全部把握できていないので、今日は本当に勉強させていただくような形になりました。最後に副委員長が仰っていたことと重なりますが、時代と共に児童館の位置づけ自体も変えていく必要があるのかもしれないという根本的なところと、それを踏まえた上でターゲットのどこに重きを置くかという問題ですね。

来館者数は数値目標として大事ではありますが、そこだけに捕らわれる施策ではなくて、原点に戻った評価の仕方を考える必要があると思います。

3点目は、そのために適切な広報の仕方考えることですね。かとう子育てねっとというメールでの広報がありますが、若いお母さん世代にはなかなかメールはあまりなじみがないですね。その辺りをもう少し、メールを送るだけでなく画像を送ったりも含めて考えていく必要があるのかもしれないなど、今のお話を伺って思いました。

たくさんのご貴重ご意見ありがとうございました。これからもいただいたご意見を踏まえて、各課とも連携・協力をしていただいで進めていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

#### 【閉会】

- ・事務局より連絡
- ・閉会のあいさつ（西田副委員長）

#### ○当日資料

- 資料①-1 児童館来館者数（平成28年度～令和3年度）
- 資料①-2 令和3年度 児童館来館者数（前年度との比較）
- 資料② 令和3年度 児童館主要事業実績
- 資料③ 令和3年度 「かとう子育てねっと」活用状況
- 資料④ 令和4年度 児童館運営方針
- 資料⑤ 令和4年度 児童館主要事業計画案
- 資料⑥ 令和4年度 児童館年間行事活動予定表
- 参考資料 児童館の現状と課題

令和4年8月24日

委員長

森田啓之